平成29年度 一般会計補正予算（第1号） 全員賛成で可決

地域協働学校（コミュニティ・スクール）推進事業

市では上野台小学校、東台小学校の2校をモデル校として、独自の地域協働学校づくりが進められています。今回、国の委託事業の活用が補正予算に計上されました。

●主な質疑

問 地域コーディネーターの選出は、どのように行うのか。

答 広く公募はしていない。学校応援団の協力者や地域の元教員にお願いしている。

問 学校応援団の今後の関わり方は。

答 国が言う「学校地域支援本部」と捉えている。さらに、学校応援団活動を充実させ、活動範囲を広げていく。

問 地域協働学校が目指す教育のあり方はどのようなものか。

答 子どもたちが、たくさんの大人と関わることで生き方や様々な職業があることを学び、将来的に子どもたちが自分の将来を切り開く力をつけ、大きくなってまた地域で活躍してもらいたいと考えている。

地域の大人との交流

条例改正（全員賛成で可決）

独自の特例で市を活性化

市税条例の一部改正

市の実情に応じた政策を展開できるようにするため、自主的に固定資産税等の特例を定めることができる「わがまち特例」を新たに創設する等の改正です。

●主な質疑

問 今回の特例対象は。

答 地域型保育事業のうち、2つの事業所内保育事業が対象となっている。

問 他の事業所が対象となる可能性は。

答 新たに企業主導型保育事業が創設され、いくつかの事業所が該当するが、特例の対象となるには国の補助を受けていることが条件となっていることから、今回の対象とはなっていない。

問 保育事業のほか、緑地保全・緑化推進法人が設置管理する市民緑地に対する特例が新たに創設されたが、この趣旨は。

答 地方自治体における緑地の管理、整備には財政的に限界があることが挙げられる。民間企業が一般開放された緑地を整備、管理する取り組みを踏まえた制度となっている。

条例改正（賛成多数で可決）

より使いやすい新たな施設へ

都市公園条例の一部改正

ふじみ野市運動公園の既存のテニスコートを砂入り人工芝コートへ改修するとともに、新管理棟の建設に伴い、利用料金が変更となります。

●主な質疑

問 砂入り人工芝コートにするメリットは。

答 平成28年度は天候不良等による閉鎖日数が170日あったが、雨天後の翌日の使用が可能となる。また、大きなメンテナンスも10年に1回程度におさえることができる。

問 新たにコートを2面拡張することの効果は。

答 既存の4面に加え新たに2面拡張することでより大きな大会が開催可能となる。また、雨天後の翌日の使用が可能となることと併せ、現状と比較して2倍近くの利用コマ数になると考えられる。

問 利用団体や一般利用者等の要望や意見は。

答 テニス協会、ソフトテニス連盟との会議を3回実施。一般の利用者からも要望等を受けた。

問 改修のスケジュールは。

答 10月までに新しく砂入り人工芝コート2面を拡張して、その後既存の4面を改修する。

問 改修スケジュールの利用者への周知は。

答 運動公園の仮事務所で掲示する。ホームページでの掲載も行い、広く情報周知に努める。

雨天の翌日も利用可能に